

# ふくおかのふくし

Welfare of Fukuoka



## 今号の内容

- 特集 福祉・介護人材の確保・養成・定着に向けて ..... p 1
- ふくおか“きずな”フェスティバル報告 ..... p 4
- みんなが主役の元気な地域づくりセミナー報告 ..... p 5
- 民生委員・児童委員セミナー報告 ..... p 6
- 赤い羽根共同募金 ..... p 7
- キラリ☆地域のふくしびと ..... p 9
- ふくふくInfo ..... p10

「ふくし」はやりがいのある仕事です  
(障害者支援施設 天心園での笑顔あふれるひととき)  
関連記事1頁

### じぶんの町を良くするしくみ

#### 赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の  
配分金を受けて発行しています。

ふくおかのふくし 173号 発行所/福岡県春日市原町3丁目1番地7 福岡県総合福祉センター(クローバープラザ)内 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日/2019年(平成31年)3月18日 編集発行人/小川弘毅 印刷所/株式会社 日報

平成31年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ホームページでも内容を紹介しています  
<http://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

## しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

### プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、動産総合保険、費用・利益保険)

#### ① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		▶年額保険料(掛金)			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	定員	基本補償(A型)	
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	1~50名	35,000~61,460円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	51~100名	68,270~97,000円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	以降1名~10名増ごと	1,500円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円	
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円		
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円		
お見舞い等の各種費用	新設 徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円	●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償 ●オプション2 ●医務室の医療事故補償 ●オプション3 ●看護師の賠償責任補償 ●オプション4 ●借用不動産賠償事故補償 ●オプション4 ●クレーム対応サポート補償 <b>改定</b>	
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円		
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度		
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円		

#### ② 個人情報漏えい対応補償

#### ③ 施設の什器・備品損害補償

### プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

#### ① 入所型施設利用者の傷害事故補償

#### ② 通所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間1年、職種別A級

▶保険金額		▶年額保険料(掛金)	
	1口あたりの補償額	定員1人1口あたり	
死亡保険金	100万円	①入所型施設利用者	1,310円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%	②通所型施設利用者	990円
入院保険金(1日あたり)	800円	③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償	
手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍	施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の 傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償	
通院保険金(1日あたり)	500円		

### プラン3 施設職員の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

#### ② 施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間1年、職種別A級

▶保険金額		▶年額保険料(掛金)	
	1口あたりの補償額	定員1人1口あたり	
死亡保険金	140万円	施設役員・職員 1名1口あたり	3円(1日あたり)
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%	①施設職員の労災上乗せ補償 <b>改定</b>	
入院保険金(1日あたり)	1,500円	●オプション: 使用者賠償責任補償 <b>改定</b>	
手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍	③施設職員の感染症罹患事故補償 <b>改定</b>	
通院保険金(1日あたり)	600円		

### プラン4 社会福祉法人役員等の補償

(賠償責任保険)

保険期間1年

▶保険金額		Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1事故・期間中		5,000万円	1億円	3億円

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

# 福祉・介護人材の確保・養成・定着に向けて

現在、福祉・介護分野においては慢性的な人材不足であり、少子・高齢化が進行する中で、人材確保はますます厳しさを増すことが予想されています。国の推計によると、団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年には、全国で55万人もの介護職員が不足すると見込まれ、さらに保育士をはじめ、他の福祉人材の確保も困難を極めています。福岡県においても、2015年の介護職員数約7.7万人に対し、2025年には約9万9千人、1.28倍の介護職員が必要と見込まれており、人材確保対策は喫緊の課題となっています。こうした中、本会では福祉人材センターでの事業を中心に、県内の社会福祉施設や事業所と連携して、人材確保・養成・定着に向けた様々な取組を展開しています。



## 福岡県 介護人材養成・就職支援事業

本センターには、介護の仕事に特化した就職支援専門員が常駐しており、介護の仕事希望する人や求人施設・事業所からの相談についてきめ細かな支援を行っています。就職支援専門員による支援内容は次のとおりです。

- ・就職希望者の相談対応、採用面接への同行
- ・求人事業所への採用活動アドバイス
- ・就職希望者と求人施設・事業所のマッチング
- ・就職後の労使双方のフォローアップ、巡回相談



## 福岡県福祉人材センターの運営について

福岡県福祉人材センター（以下、本センター）は、福岡県社会福祉協議会（以下、本会）が実施する福祉専門の「無料職業紹介所」であり、厚生労働省から許可を受けて職業紹介を行っています。福祉に関する職業紹介や求人登録、資格に関する相談など、すべて無料で利用できます。また、本センターは県内4地区に支所（福祉人材バンク）を設置して職業紹介業務を行っています。以下、本センターの取組を紹介し

## 福祉のしごと就職フェアの開催

福祉のしごと就職フェアは、福祉分野に限定した就職説明会及び面談会で、九州最大級の規模を誇ります。福岡県内の社会福祉関係施設・事業所約170法人が参加し、年2回（夏・冬）開催しています。毎回、約3,000名の求人があり、それぞれのブースで求職者との面談が行われます。就職



フェアでは、求職者を対象としたセミナーや、福祉の職場や資格に関する相談コーナー、託児室の設置等も行っていきます。このフェアは、本会、福岡県、福岡労働局、ハローワーク福岡中央の4者で開催しており、毎年、100名以上が就職に結びついています。また、就職フェアは、各地区でも開催しています。北九州地区では年2回、筑後地区、筑豊地区、京築地区ではそれぞれ年1回開催しています。各地区とも、面談会当日は、事業所等による個別面談だけでなく、福祉に関する資格や就職相談等も行っています。

## 福祉・介護の職場体験事業

福祉・介護の職場体験とは、福祉・介護の仕事に関心のある方に、実際の職場の雰囲気や介護の具体的な業務を体験していただく事業で、福岡県在住の高校生以上の方であれば資格の有無にかかわらずどなたでも体験できます。体験は、利用者との交流・話し相手・作業補助・配膳衣類整理・掃除・利用者の介助・車いす介助等、施設や事業所が指定する内容となります。一人1回、1施設・事業所限りですが、最大で3日間まで体験することができます。毎年、6月から2月まで受け付けていますので、興味のある方は本会までご相談ください。

## 介護に関する入門的研修の開催

入門的研修は、平成30年度から新たに始まった事業です。介護未経験者が基本的な知識を身につけたり、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことを目的としています。

介護の仕事がしたい方や家族の介護に活かしたい方、ボランティア活動や人の役に立ちたい方などにおすすめです。この研修は、基礎講座と入門講座の2つに分かれており、入門講座は基礎講座修了者のみが受講できます。さらに、各講座修了者には県知事名の修了証書が発行され、介護職員初任者研修や介護職員実務者研修の受講の際、受講科目の一部を免除することができますこととなっています。



平成30年度、福岡県では、全国に先駆けて県内4地区（28日間）で開催しました。

## 【各地区センター・バンク】

- 福岡地区  
福岡県福祉人材センター(福岡県社協内) TEL092(584)3310
- 北九州市地区  
北九州市福祉人材バンク(北九州市社協内) TEL093(881)0901
- 筑後地区  
筑後地区福祉人材バンク(久留米市社協内) TEL0942(34)3035
- 筑豊地区  
筑豊地区福祉人材バンク(飯塚市社協内) TEL0948(23)2210
- 京築地区  
京築地区福祉人材バンク(行橋市社協内) TEL0930(23)8495



本年度の研修はすべて終了しましたが、来年度も同等程度の研修を予定しておりますので、詳細が決まり次第、本会ホームページ等でお知らせします。

主な研修内容  
【基礎講座 3時間】  
介護に関する制度の概要や、介護における安全・安楽な身体動作等、基本的な知識・技術を学びます。

【入門講座 19.5時間】  
介護職の役割や介護の専門性、事故や感染症などのリスクに対する予防や、安全対策等介護の現場において理解しておくべき必要な知識・技術を演習も含め学びます。

- ・基本的な介護の方法
- ・認知症の理解
- ・障害の理解
- ・介護における安全確保
- ・人権学習



# ふくおか"きずな"フェスティバル報告

去る2月17日(日)、クローバープラザ(春日市)でふくおか"きずな"フェスティバルを開催しました。このフェスティバルは『共に支え合い、共に生きる地域社会の啓発・促進』を基本理念に、『子育て支援の輪を広げ』、ボランティアの『多分野交流』や『活動促進』を図ることで、福岡県の地域福祉を推進することを目的としています。当日は県内各地で活動するボランティア約3,000人の参加を得て、盛会のうちに終了することができました。

## オープニング・開会式典

開会は、大谷小学校ママさんコーラス「プリティーウーマン」のみなさんによるハーモニーで、華やかな幕開けとなりました。(右写真)  
式典では、小川本会会長と中村実行委員長長の挨拶の後、来賓の小川県知事と井上県議会議長から御祝辞をいただきました。また、式典の中で、中村委員長は平成30年7月豪雨災害の義援金への協力を呼びかけました。これを受け、本フェスティバルにお寄せいただいた義援金は総額48,221円で、これらは全額、福岡県共同募金会を通じて被災地へ送金されます。みなさまの暖かいご協力、ありがとうございました。



小川 弘毅 本会会長



中村 政子 実行委員長



小川 洋 県知事



井上 順吾 県議会議長

## 記念講演

フリーキャスター 堀尾 正明 氏から、「ご近所の底力、あなたの手で街が輝く」と題して講演いただきました。講演では、堀尾さん自身がキャスターとして全国を取材された長年の経験を基に、「強いまちの作り方」について、伝授していただきました。身近な例えを用いながら、ユーモアを交えての分かりやすいお話に、会場内はしばしば笑いにつつまれました。参加者の皆さんにとっては、日々のボランティア活動や地域づくりへの取組向上につながる記念講演となりました。



## ボランティア活動別分科会

ボランティア活動分科会は、「高齢者」、「障がい児者」、「子育て・子ども支援」、「環境」、「災害」の5つに分かれて行いました。それぞれで活発な意見交換が行われる等、貴重な機会となりました。



## 福岡県まごころ製品販売フェア・食バザー

「丸形食パン」や「きびきび玄米」など、障がい者がつくるまごころ製品が多数販売されました。会場はたくさんの人で賑わい、おいしい・たのしい食バザーとなりました。



## 親子で楽しめるイベント

木工工作や人形劇、読み聞かせ、一針体験など、多彩なイベントで子どもからシニアまで多くの世代が一緒に楽しみました。



【問い合わせ先】 共生社会推進課 ☎092(584)3377

## 福祉分野で働く方への福利厚生制度の運営

本会では、福祉分野で就労している職員の福利厚生の増進を図るための福利厚生事業を行う「ソウェルクラブ」の地方事務局を運営しています。

このソウェルクラブは全国組織で、全都道府県に地方事務局が設置されており、入会すると様々なサービスを受けることができます。

提供されるサービスには、全国一律に提供されるものと、各都道府県独自で提供されるものがあります。具体的なサービス内容は、生活習慣病予防健診費用の助成や慶事お祝い、ホテルやレジャー施設、旅行等の優待割引等です。

特に福岡県では、人気アーティストのコンサートチケットや食事券、スポーツ観戦券、ミュージカルの観劇、レジャー施設や映画鑑賞券等の優待割引サービスを積極的に発行しており、平成30年度は延べ1万人の会員の方に利用いただきました。

なお、会員になるためには、法人ごとの加入が必要で、年会費は役員1人あたり1万円です。

## 各種セミナーの開催

本会では、職員の早期離職の防止や、定着を図るためのマネジメントについて学び、継続して活躍できる人材育成を目的に「介護福祉施設人材定着支援セミナー」を開催しています。



また、介護分野の有資格者で、介護分野への再就職を考えている方を対象に、「介護のお仕事復帰セミナー」を開催しています。このセミナーでは、介護分野の現状や動向に関する講義、就職活動を行う上でのマナーや自己分析、実技講習、施設見学等を行います。

## 【主な研修内容】

- ・介護分野の現状や動向、就職活動を行う上でのマナーや自己分析、実技講習、施設見学等を行います。
- ・介護職員をとりまく現状
- ・就職活動のポイント
- ・介護における基本的動作から実践的動作までの再確認(実技)
- ・施設見学等

本年度のセミナーはすべて終了しました。来年度については、詳細が決まり次第、本会ホームページ等でお知らせします。

## 今後の人材確保・養成にむけて

厚生労働省の試算によると、今後経済成長が止まり(ゼロ成長)、就労していない女性や中高年齢層の労働市場への参入が進まなかった場合には、2040年の就業者数は5,245万人となり、2017年に比べて1,285万人減少すると言われています。こうした中で、他産業よりも人材確保が厳しい福祉・介護分野においては、多様な人材の参入促進を図り、福祉・介護人材の裾野を広げていくことが必要です。

が必要で

このため、事業者の意識改革はもとより、現行の業務内容の見直しやICT・ロボットなどの導入による職員の負担軽減、福祉・介護の仕事のイメージアップなどに取り組み、発信していくことが重要です。

本会では、福祉人材センターの運営の他、介護福祉士や社会福祉士、保育士などの資格取得を支援する資金貸付事業や、社会福祉法人・施設・事業所で働く方々を対象とした研修、退職共済事業、第三者評価事業など幅広く取り組み、福祉・介護人材の確保・養成・定着を推進しています。



【問い合わせ先】  
人材・情報課

☎092(584)3310

# 「地域福祉活動の後輩づくり」

平成30年度みんなが主役の元気な地域づくりセミナー報告

本会では、地域が抱える課題や地域のつながりづくりの大切さについて、地域住民、ボランティア活動者、専門職などが共に考え、住民主体の元気な地域づくりを進めることを目的として、去る2月28日、福岡国際会議場で本セミナーを開催し、1,000名を超える方々に参加いただきました。

## ◆講演

「近年、少子高齢化や地域におけるつながりの希薄化など支えあい機能の脆弱化が進み、見守りや居場所づくりを通じた取組がますます重要視されています。」

そのような中、地域における福祉活動を支える担い手の固定化、後継者や若い世代の不足は、共通した深刻な課題となつていきます。

講演では、神戸医療福祉大学社会福祉学部経営福祉ビジネス学科鈴木大介准教授をお招きし、「地域福祉活動の後輩づくり」をテーマに、このような原因や

背景、新しい担い手とつながるための方法や後継者育成の視点について講演いただきました。

「どうすれば地域活動者を増やしているのか。どうアプローチすればよいのか。住民の性質を三層に分けてアプローチの方法を考えてみるのが大事です。」

## 地域住民の三層構造

- 【第一層】地域活動に興味があり、活動もしている
- 【第二層】地域活動に興味をもっているが、活動はしていない
- 【第三層】地域活動に興味がなく、活動もしていない

新しい活動者に的を絞るなら第二層に着目することが凄く大切です。なぜなら、地域のことを本気で捉えている方が多いからです。しかし、足を踏み出せない理由や原因があり、そこを丁寧に取り除いていく意識が必要です。第二層から第一層に変わる人が増えてくると地域全体が少しずつ活性化します。地域の取組が増えていくことで、地域活動に興味がなかった第三層の方の目に付く機会が増え、活動に気づき始め



鈴木 大介 氏

## ◆レクリエーション

NPO法人福岡県レクリエーション協会 専務理事 佐藤 靖典 氏をはじめインストラクターの皆様から、「瀬戸の花嫁」「愛燦燦」「手のひらを太陽に」の曲に乗せたレクリエーションの実演をいただき、地域で楽しく実践できるレクリエーションを学びました。



「地域福祉活動の担い手確保と育成の工夫」をテーマに、地域福祉活動者のお二人から日頃の活動を踏まえて報告をいただきました。

## ◆パネルディスカッション

「地域福祉活動の担い手確保と育成の工夫」をテーマに、地域福祉活動者のお二人から日頃の活動を踏まえて報告をいただきました。

「ボランティアをお願いするときは、『あなたがボランティアを楽しんでください。自分の持ち味を出していただければ大丈夫です』と申し上げています。人材の育成は、様々な人間関係の中で、いかに親交を深めていけるかにかかっているとします。相手への心遣いと、自分自身の生き生きとした生き方、つまり、人間性の広がりをもって相手と接していくことが凄く大切です。」

「にしよど にこネット」  
代表理事／主任児童委員 福田 留美 氏  
(大阪市西淀川区)

「一緒に活動をしていただくようお願いする工夫として、それぐらいだったら良いかなと思ってもらえることがポイントです。『スタッフになって』ではなく、『ブログに載せるために今日の活動写真を撮ってほしい』など気軽にできる役割をお願いしています。一緒に作業し言葉を交わすことでコミュニケーションが生まれます。一歩ずつ、良い関係を作っていくことが大切です。」

須玖南地区自治会

福祉部長 染川 幸美 氏  
(春日市)

「問い合わせ先」  
地域課  
092(584)3377

## 民生委員・児童委員活動のこれからを考える

平成30年度 民生委員・児童委員セミナー報告

去る平成31年1月23日(水)、福岡国際会議場において、平成30年度民生委員児童委員セミナーを開催し、県内の民生委員・児童委員約1,000名が参加しました。

本セミナーは民生委員・児童委員の活動及び関係機関・団体との連携等について学び、共有を図ることで活動の充実を目指すことを目的に、毎年開催しています。

記念講演では、駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 川上 富雄 准教授に『地域共生社会』の実現に向けた「民生委員・児童委員の役割」と題し御講演いただきました。以下、その概要を報告します。



川上 富雄 氏

## 民生委員活動の現状と課題

民生委員・児童委員は日頃から担当地区の地域住民への個別支援に加え、地域の諸機関・組織と連携しながらコミュニティの再構築や地域づくりに貢献しています。民生委員・児童委員がいなければ地域福祉活動の停滞に繋がると思われます。

しかし、個人情報やプライバシーの保護に関する問題が生じたり、地域住民や要援護者の協力・理解が得られない等の壁が立ちほだかり、活動しにくい状況にあります。

だからこそ、活動しやすい環境づくりが必要です。専門機関・専門職との連携や、地域のキーパーソンとの協働により、啓発の促進、研修による援助技術向上、活動範囲や権限のルール化などに取り組みとともに、個人情報保護等に配慮し、住民の信頼を損なわない活動を心掛ける必要があります。こうした、活動環境整備のために民生委員・児童委員が果たす役割は少なくありません。

## 社会福祉を巡る状況と福祉観

地方では、家族人員減少・超高齢化・限界集落化が進み、互助意識は残っていても担い手となる若者が減少し、経済・教育・交通・福祉文化伝統の維持困難と相まってコミュニティの脆弱化が進んでいます(家族の脆弱化⇨自助力の低下)。一方、都会では、人口も若者も多いですが、オートロック共同住宅の増加・無関心・個人主義など人間関係及び地域への帰属意識の希薄化、プライバシー保護意識などが相まって相互意識が育ちにくい状況です。

福祉制度があるから生活が安心という訳ではなく、制度からはみ出る生活困難や将来への不安をみんな抱えています。それを埋める仕組みをしっかり作っていかないと、私たちは安心し



## 地域共生社会と 民生委員・児童委員活動

2017年に地域力強化検討会の最終とりまとめが出され、「地域共生社会」の実現に向けて、他人事を「我が事」と思いながら支えあう地域社会づくり、「複合課題丸ごと」「世帯丸ごと」とりあえず丸ごと「受け止める場」として、丸ごとワンストップの相談窓口体制の構築、市町村における包括的な相談支援体制づくりが示されました。

民生委員・児童委員はひとりで責任を背負込むのではなく、関係機関と連携し、できる範囲でばちばちと、皆さんの心身の健康に留意し元気に活動してください。

「問い合わせ先」  
地域課  
092(584)3377

## 平成30年度モデル指定支会の取組

福岡県共同募金会では、共同募金の継続的な応援者を増やすとともに、募金実績の向上を図るための新たな取組などを推進するため、平成24年度から市区町村支会に対し、活動費の一部を助成するモデル指定事業を平成24年度から実施しています。今回は、今年度にモデル指定した田川市支会と八女市支会の取組の一部を紹介します。



### きっかけ

長年、街頭募金を開催させていただいた地元商店街に対して「助け合い、支え合い」の共同募金として何かお返しができないか、また、地域の方々と共に考え、協働で行うことにより、新たなつながりやPR活動・地元商店街の更なる活性化等、地域振興にもつなげられないかと思ひ、商店街を応援するコラボ企画を始めました。

### 様々なイベントを実施

夜市(7月)では、おばけ屋敷やスーパーボールすくい、「たがわdeハロウィン」(10月)では、子どもの遊び場「紙サラダ展」などを応援隊の皆さんと行い、商店街から売上金を共同募金に寄付いただきました。また、赤い羽根ブースを設け、「募金につながる小物づくりの会」が作成した商店街オリジナルキャラクター(ふうじくん)の小物販売等を行い、商店街と共同募金のPR活動を行いました。

## 地元商店街と赤い羽根コラボ企画

### 支会担当者の声

地域の皆さんに商店街の活動を知ってもらい、一緒に盛り上げてもらえないかと「いたまち応援隊」を募集したところ、多くの方に協力いただくことができました。商店街のイベントに応援隊の皆さんと関わりながら、商店街の活性化に向けた取組と、様々な年代へ共同募金のPRを行うことができました。今後もこのつながりを大切にしながら、WIN-WINとなるような募金のしくみづくりを、多くの人と協働しながら取り組んでいきたいと思ひます。



## オリジナルグッズで赤い羽根PR



### 市内小・中・高校、障がい者支援施設へ募集

八女市オリジナルグッズで赤い羽根共同募金をPRするため、市内の小・中・高校と障がい者支援施設へグッズに活用するイラストと標語を募集しました。(応募作品約1,000点)  
受賞作品は、クリアファイル・街頭募金用チラシ・蛍光ペン・ポスターに活用しました。  
また、受賞者の学校及び施設で表彰式を行いました。

### 寄付のお礼としてオリジナルグッズを配布

八女市オリジナルグッズを共同募金協力者へのお礼としてお渡ししました。協力してくださった方からは、「募金をしてこんなに可愛らしいグッズをもらえて嬉しい。」「地域の子も達や施設の方がデザインした作品を活用しているグッズは親近感がわく。」など、ありがたい言葉をいただきました。  
また、街頭募金の際には、受賞作品を活用したチラシ入りのポケットティッシュを配布しました。

### 支会担当者の声

市内の学校に通う子ども達や障がい者支援施設の利用者が応募した作品で作成した八女市オリジナルグッズを募金協力品として活用したところ、多くの方々が地域住民の作品が活用されていることに、とても喜んで受け取ってくださいました。  
これからは八女市オリジナルグッズを作成し、地域の方々の身近な共同募金としてPRを続けていきたいと思ひます。  
また、今後は福祉施設と学校とのつながりを作り、福祉の輪を広げていく取組も行っていきたいと思ひます。



員の確保は喫緊の課題となっているそうです。



「私たちの活動を伝え、理解してもらうことが必要です。そのために広報は大切ですが、主として寄付金によって運営しているため、予算はとても厳しく、共同募金の配分金で、機関誌の発行・相談員募集のチラシ作成・公開講座の案内などに取り組むことができ、とても助かっています。」と川尻事務局長は話されました。  
北九州いのちの電話は、相談者が抱える「孤独」に、「辛い気持ちを話してみませんか」と寄り添いながら活動を続けています。  
多くの人の心に寄り添う活動に共同募金が活用されています。

## 【共同募金のつかいみち】 人の心に寄り添う活動を支援 〜北九州いのちの電話〜

国では、月別自殺者が最も多い3月を「自殺対策強化月間」とし、ひとりひとりが自殺を身近な問題であると捉えられよう全国各地で様々な取組が行われています。

私たちが悩みや不安を抱えた時、そのことを解消・軽減するために何をすればいいか。家族や友人など身近な人に話を聞いてもらい、共感や助言を求めることから始めるでしょう。しかし、社会の中では、悩みや不安、あるいは危機に直面しながら身近に相談する人がいなくて絶望し、生きることに希望を失くしている多くの人がいます。

社会福祉法人北九州いのちの電話は、このような人に対して、その心に寄り添い、矛盾や葛藤を乗り越え、自立して生きていけるようにと、訓練を受けた相談員が「眠らない電話」として、24時間年中無休で悩みを聴いています。相談員は匿名のボランティアとして、相談者を精神的に支え、最終的には自殺予防を目的とした活動を行っています。

平成29年度の相談件数は1万6,832件。そのうち自殺傾向を伴う相談は1,845件。川尻正之事務局長は「行政・民間が自殺予防の対策を実施している中、自殺者は8年連続で減少している反面、未成年の自殺は増加しています。」と現状を話されました。

いのちの電話は匿名で相談することができます。相談者は、お互いが匿名だからこそ、気兼ねなく話せるそうです。「相談者は孤独なんです。いのちの電話は最後の拠り所だと思っています。」相談員の皆さんは、そんな思いで毎日電話を受けられています。声だけを頼りに相談員を受け止め、相談員が自分で答えを見つけていけるよう話しを聴いていく。相談員は、養成研修を終了し、認定を受けた後も、活動の質を維持向上していくために、毎月、継続研修を受講しています。現在の相談員は142名。いのちの電話は眠らない電話ですが、「つながらない電話」とも言われています。相談員の不足により電話を受けることができず、相談

【相談電話はこちらまで】  
北九州いのちの電話  
☎ 093(671)4343

【問い合わせ先】  
福岡県共同募金会  
☎ 092(584)3388  
E-mail bokin@fuku-shakyo.jp

電話相談員を募集します  
特別な資格や学歴は必要ありません。約2年間の養成研修があります。詳しくは、北九州いのちの電話事務局まで。  
☎ 093(652)6628

いのちの電話とは  
自殺予防を目的として、1971年に東京で創設され、現在、全国に50のセンターがある。  
福岡県内には北九州市と福岡市の2か所。北九州いのちの電話は、昨年度、創立40周年を迎えた。

# ふくふくInfo

## 社会福祉施設等で働く方々の“学びたい”を応援します！

福岡県社会福祉協議会では、社会福祉施設等に就かれている方々の資質の向上を目的に研修会を開催しています。階層別研修では、新任職員から管理者までそれぞれの立場に求められる役割を理解し、必要な能力を身につけるために様々な研修を行います。また、感染症予防研修等のテーマ別研修や認知症に関する研修、介護支援専門員更新研修などを実施します。研修の詳細は各研修開催日2カ月前を目途に本会研修課ホームページに掲載していく予定です。

平成31年度研修事業につきましては4月上旬に本会ホームページで案内しますので、ご確認ください。

### 【平成31年度新規研修(案)】

- ・利用者・家族とのコミュニケーション力向上研修
- ・接遇マナー向上研修
- ・説明力向上研修
- ・「報・連・相」強化研修
- ・業務改善研修
- ・ケアマネジャーのためのファシリテーション研修

## 平成31年度福岡県介護支援専門員資格更新のための研修について

福岡県では、平成31年度以降の専門研修課程Ⅰの受講者について下記のとおり変更がなされる予定です。

- ① 福岡県内で介護支援専門員としての実務に従事しており、就業後6ヵ月以上かつ介護支援専門員証の有効期間満了日が2年前の者
- ↓
- ② 福岡県内で介護支援専門員としての実務に従事している、就業後6ヵ月以上の者

※標記研修については、4月上旬に福岡県庁ホームページ(保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課)で公開される予定です。

【問い合わせ先】 研修課 ☎ 092(584)3401

## 福岡県民共済生活協同組合様からご寄付をいただきました



福岡県民共済協同組合様には、平成18年の組合創設20周年以降、社会貢献の一環として、毎年ご寄付をいただいております。本年も、本会に貴重な浄財をご寄付いただきました。去る1月23日に行われた贈呈式では、福岡県民共済協同組合 常務理事 石丸 一宏 様(写真左)から高橋 敬 本会常務理事(写真右)へ目録が贈呈されました。本会では、この寄付金を地域福祉活動の推進に有効活用させていただきます。福岡県民共済協同組合様、ありがとうございました。

【問い合わせ先】 総務課 ☎ 092(584)3377

# シリーズ キラリ★地域の ふくしびと

Vol.15

このコーナーでは、福岡県内でふくしの仕事に携わる人の声を紹介していきます。今年度は、「ふくおかライフレスキュー事業(※)」参加法人の職員にインタビューを行います。

## ふくしの仕事を始めたきっかけは？

大学進学の際に、人とかかわる仕事がいいなと思う、福祉系の学部に進学し、精神保健福祉について学びました。卒業後、病院の医療ソーシャルワーカーとなりましたが、もっと色々な人と触れ合いたくて、今年度から社協に転職しました。

## 現在の担当業務について

久留米市内の3校区を担当し、民生委員・児童委員協議会の支援や、高齢者の見守り活動、サロン活動等の小地域ネットワーク活動支援をしています。はじめは一人で校区に出ていくことに緊張していましたが、校区の様々な人と出会うことができ、今では校区に出る

ほうが楽しいです。

## 仕事のやりがいや、大事にしていることは？

相手の話をきちんと伺い、話を大切にしていきます。まだ1年目で、わからないことだらけですが、聞かれたことをあやふやに答えることはせず、頼りになる周りの先輩方に相談や確認をしながら回答するようにしています。

そのおかげで、地域の方に相談してもらえる機会が少しずつ増えてきました。民生委員・児童委員の方から、地域でちょっと心配な人がいるという相談があったり、地域の方から助成金の申請方法について相談があったりと、相談内容は様々ですが、些細なことでも私のことを信頼して相談していただけることが嬉しく、それが仕事のやりがいにも繋がっています。

## ふくおかライフレスキュー事業について

若いご夫婦と子どもが2人いる家庭の支援を行いました。父親の離職に伴って生活に困窮し、電気が止まってしまおうという相談でしたが、話を聞いていくと、職前から生活に困窮している状況であ

## どんな「ふくつぎ」になりたい？

り、子育てについてもネグレクト状態と なっているなど、様々な要因が重なって いる世帯でした。現物給付だけでは解決 できない状況に対し、社協としてのよ うな支援ができるのか考えさせられまし た。今はまた、地域の社会福祉施設の方と 一緒に支援したケースが少ないですが、 今後は様々な専門性を持った皆さんと一 緒に支援していきたいと感じています。

地域の方や、先輩や同僚に信頼される ようになりたいです。

また、まだ経験が浅く、ちょっと弱気になっ てしまうことがあります。もっと 色々なことを経験し、自信をもって意見 を貫けるようになっていきたいです。



和気あいあい、久留米市社協のサポーターです

## 相談してもらえることが、やりがいに繋がっています！



**田中 亜衣 さん**  
 たなか あい  
 事業所名：社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会  
 担当：地域福祉課 生活支援コーディネーター

久留米市の概要  
 県南部の中核都市。市の北東部から西部にかけて九州一の大河・筑後川が貫流し、筑後川に沿って南側を東西に耳納山、高良山、明星山などの山々が連なります。  
 人口：305,581人 高齢化率：26.3% (平成30年4月1日現在)

※ふくおかライフレスキュー事業では、福岡県社会福祉法人経営者協議会を中心に、複数法人の連携によって生計困難者等に対する相談支援事業を行っています。